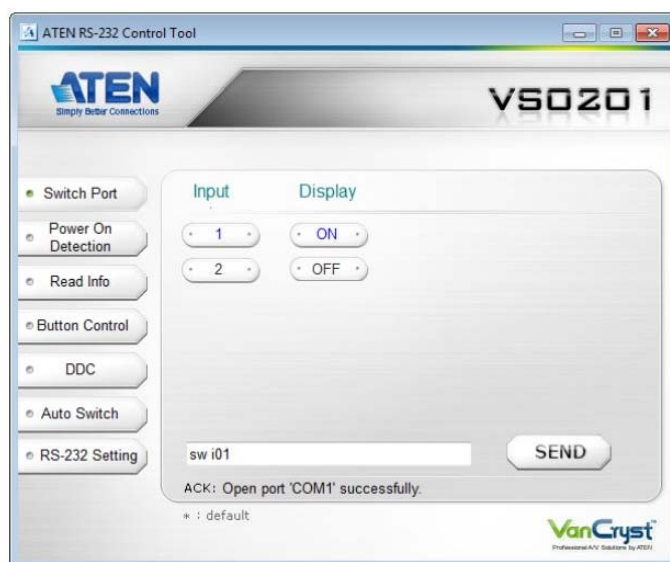


VS0201/VS0401

日本語版 RS-232 操作ツールマニュアル

V1.0.062



本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、VS0201/VS0401 取り扱いの便宜を図るため、英語版 RS-232 操作ツールマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く改変されることがあり、本日本語版 RS-232 操作ツールマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版 RS-232 操作ツールにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版 RS-232 操作ツールマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2013 年 3 月 14 日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く改変されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	2年以上	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。

【補足】

- ・本規定は ATEN/ALTUSEN ブランド製品に限り適用します。
- ・ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行います。それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ・ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

【免責事項】

1. 弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を、必ずしも満たすものではございません。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対しての保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

ユーザーの皆様へ	i
ATEN ジャパン製品保証規定	ii
製品についてのお問い合わせ	v
FCC.....	2
RoHS.....	2
SJ/T 11364-2006	3
RS-232 操作ツールの操作方法	4
概要	4
始める前に	4
.NET Framework 2.0 のインストール.....	4
RS-232 操作ツールのインストール.....	4
GUI メイン画面	9
Switch Port (ポート切替).....	10
Power on Detection (電源状態検知)	13
Read Info (ファームウェアの読込)	15
Button Control (押しボタンのロック)	16
DDC	18
Auto Switch (自動切替コマンド)	20
RS-232 Setting (RS-232 の設定).....	23

FCC

この装置はFCC(米国連邦通信委員会)規則、パート15の副章Jに従い、デジタル装置クラスBの制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、本装置が一般家庭内で取り付けられたときに、有害な電波干渉が発生するのを防ぐために設定されています。また、本装置は高周波エネルギーを使用し、発生させることがあります。この操作マニュアルに従わずに本装置を取り付け、使用した場合、電波通信に有害な障害を起こすことがあります。但し、定められた取り付け方法に従えば、必ず電波障害が起こらないと保証するものでもありません。本装置がラジオまたはテレビの電波受信に有害な障害となっているかどうかは、本装置の電源を入れたり、消したりして、確認してください。また、以下のひとつまたは複数の方法に従って、電波障害の状況を改善されることを推奨いたします。

- ◆ 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変えてください。
- ◆ 本装置と受信機の距離を離してください。
- ◆ 受信機が接続されているコンセントと異なる電気回路に本装置のコンセントを差し込んでください。
- ◆ 販売店または、十分な経験を有するラジオ/テレビの技術者にお問い合わせください。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

SJ/T 11364-2006

The following contains information that relates to China.

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
电器部件	●	○	○	○	○	○
机构部件	○	○	○	○	○	○

- : 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求之下。
- : 表示符合欧盟的豁免条款，但该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。
- ×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。



RS-232 操作ツールの操作方法

概要

VS0201/VS0401 には双方向対応 RS-232 シリアルインターフェースを搭載しているため、ハイエンドコントローラー、PC やホームオートメーション/ホームシアターソフトウェアパッケージを通じてシステムの操作を行うことができます。RS-232 操作ツールは、シリアル (RS-232) インターフェース接続を通じて PC から VS0201/VS0401 への操作コマンドを送信するのに使用されるアプリケーションです。VS0201/VS0401 との RS-232 シリアル操作は Microsoft 社の Windows 搭載コンピューターで弊社の GUI を使用することによって行うことができます。RS-232 操作ツールを使用するには、PC に「.NET Framework 2.0」と「RS-232 操作ツール」という 2 つのプログラムをインストールしなければなりません。RS-232 操作ツールのインストール方法および操作方法の詳細は次章で説明します。

始める前に

.NET Framework 2.0 のインストール

「.NET Framework 2.0」を PC にインストールするには、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. Microsoft 社のダウンロードセンターから実行ファイルをダウンロードしてから、それを実行してください。
2. 画面の指示に従ってください。インストールアプレットが自動的に OS を検知して正しいドライバーをインストールします。

RS-232 操作ツールのインストール

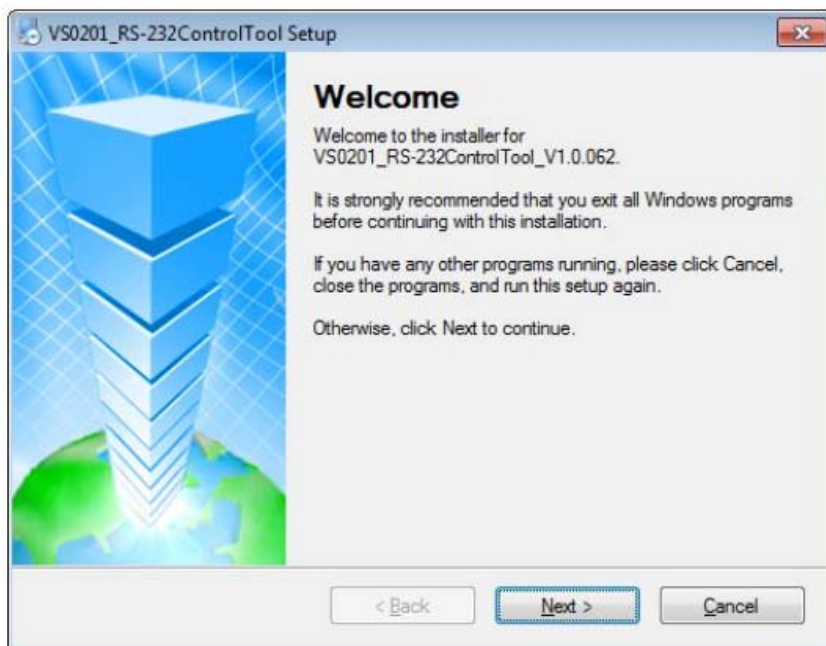
「RS-232 操作ツール」をインストールするには、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. 弊社の Web サイトのダウンロード画面または VS0201/VS0401 の「Resource」画面から RS-232 操作ツールをダウンロードしてください。

www.atenjapan.jp

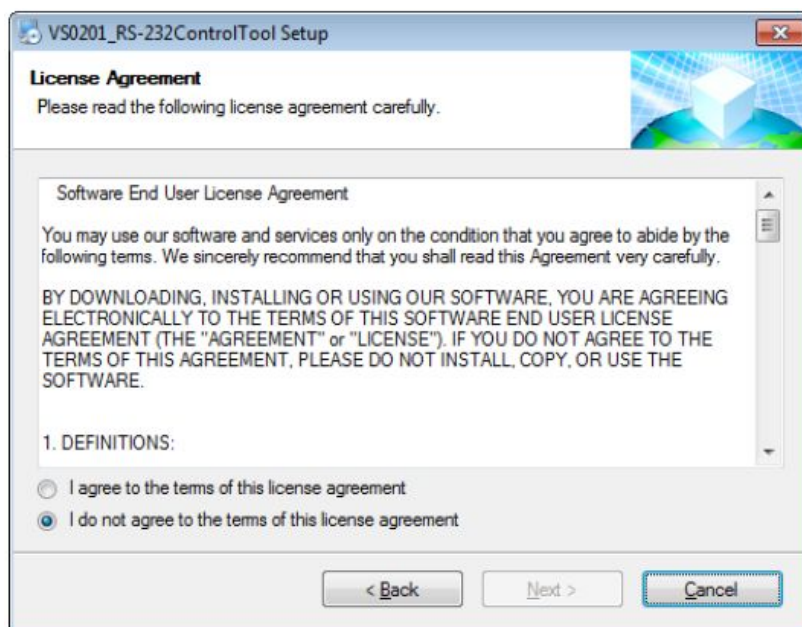
2. 任意の場所にファイルを保存してください。

3. ファイルをダブルクリックして、セットアップを実行してください。ウェルカム画面が表示されます。



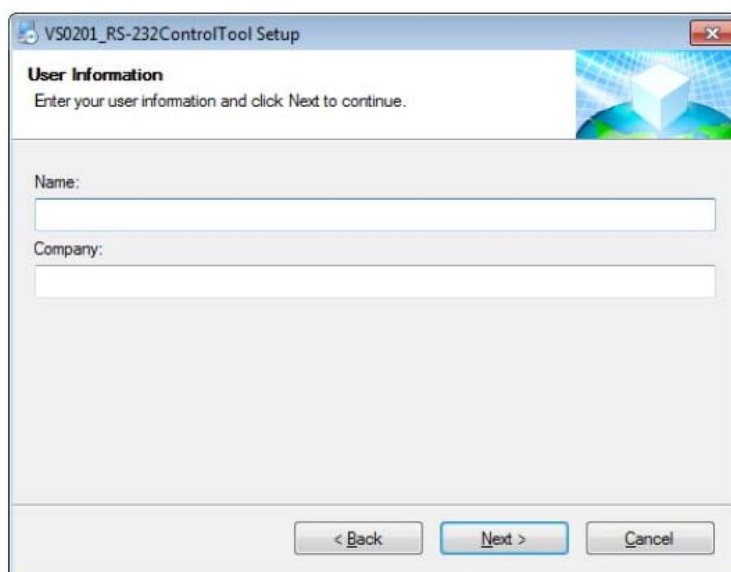
「Next」(次へ)をクリックしてください。

4. ライセンス同意書が表示されます。



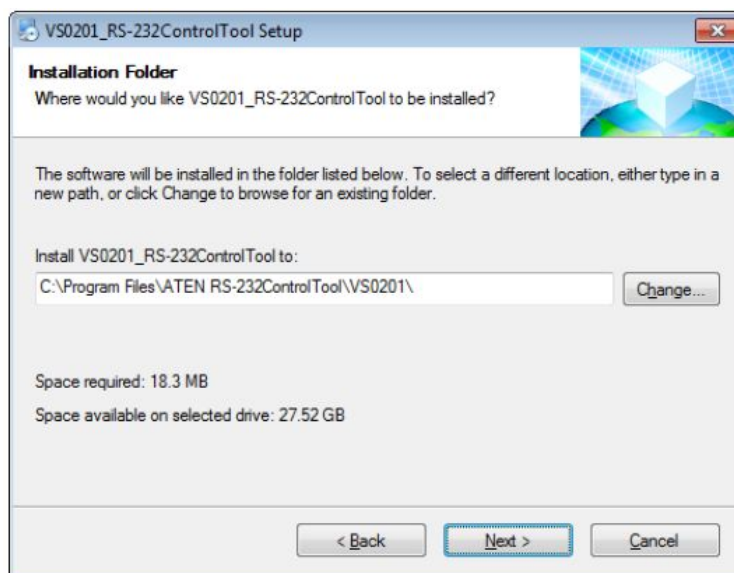
ライセンス同意書に同意する場合は、「I agree with the terms of this license agreement」(本ライセンス同意書の記載項目に同意する)を選択してから、「Next」(次へ)をクリックしてください。

5. ユーザー情報画面が表示されます。



ご氏名と会社名を入力後、「Next」(次へ)をクリックしてください。

6. インストールフォルダー画面が表示されたら、「Change」(変更)をクリックするか、デフォルト値を使用して、プログラムをインストールする場所を選択してください。それから、「Next」(次へ)をクリックしてください。

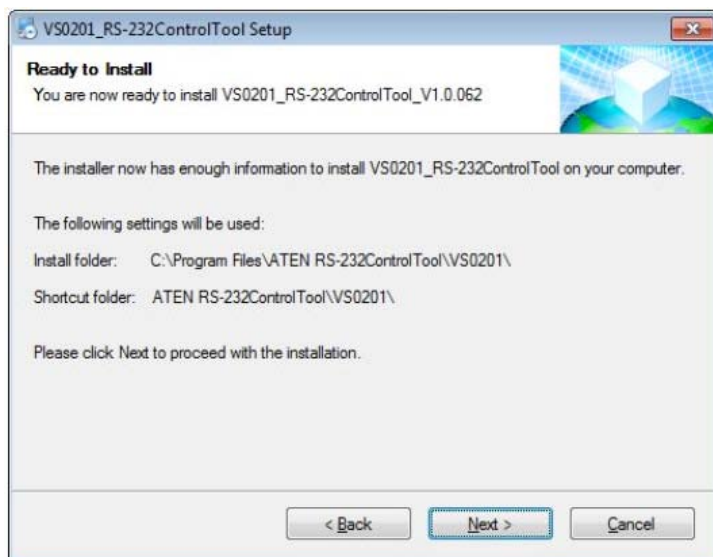


7. ショートカットフォルダーの画面から入力するか、またはドロップダウンメニューを使用して、ショートカットをインストールしたいフォルダーの場所を入力してください。

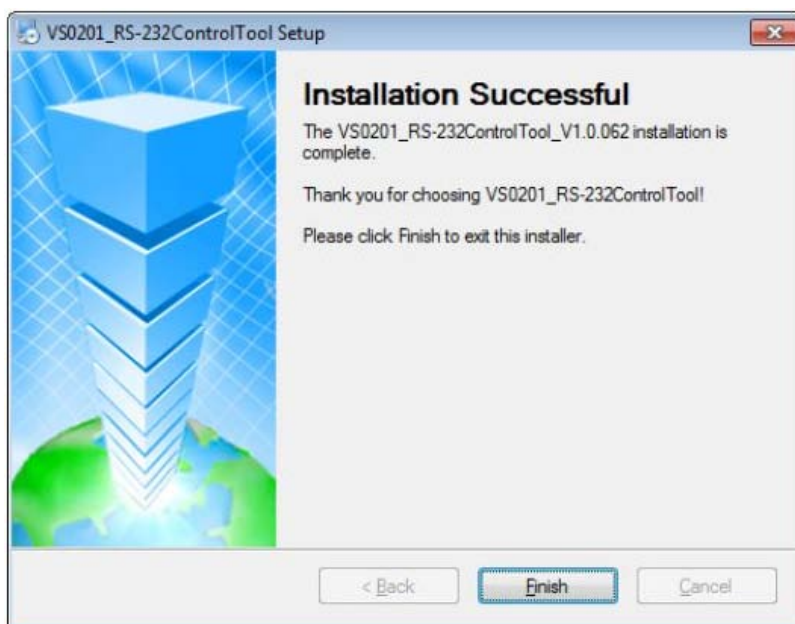


次に「Install shortcuts for current user only」(現在のユーザーに対してのみショートカットをインストールする)または「Make Shortcuts available to all users」(ユーザー全員に対してショートカットが利用可能)のどちらかを選択してから「Next」(次へ)をクリックしてください。

8. インストールの準備完了の画面で、設定内容を確認し、もし変更が必要ならば、「Back」(戻る)をクリックしてください。「Next」(次へ)をクリックするとインストールを開始します。



9. インストールが完了すると、下図のような画面が表示されます。



「Finish」(完了)をクリックしてください。これで、RS-232 操作ツールがご使用いただけます。

GUI メイン画面

RS-232 操作ツールは、VS0201/VS0401 に RS-232 コマンドを送信することができるとも便利かつ直感的なアプリケーションです。GUI の様々な構成要素については、以下のセクションで説明します。各 RS-232 コマンドの詳細な機能については、VS0201/VS0401 のユーザーマニュアルを参照してください。

GUI を起動するには、RS-232 操作コマンドにショートカットをクリックしてください。デフォルトでは、下図のように「Switch Port」(ポート切替)画面が表示されます。



注意: VS0201/VS0401 の GUI は同じ内容です。違いは、VS0401 には VS0201 よりもポートが 2 つ多いことです。

Switch Port (ポート切替)



「Switch Port」(ポート切替)画面はビデオ/オーディオソースをディスプレイポートに接続し、ディスプレイの電源を ON/OFF にする際に使用されます。

「Switch Port」(ポート切替)画面では、下記の操作ができます。

- ◆ ポートを切り替えるには GUI インターフェースから入力ポート **1**、**2**、**3**、または **4** を選択してください。
- ◆ ディスプレイの電源を ON または OFF にするには、「ON」または「OFF」を選択してください。
- ◆ コマンドを手動で入力するには、テキストボックスを使用してください。
- ◆ コマンドを送信するには、「SEND」をクリックしてください。

ポート切替コマンド

下記のようにテキストボックスにコマンドを入力してから「SEND」(送信)をクリックすることで、コマンドが実行されます。

ポート切替コマンドの構文は、下記の通りです。

1. 切替コマンド+入力コマンド+ポート番号 [Enter]

例えば、入力ポートをポート番号 02 に切り替えるには、下記を入力します。

```
sw i02 [Enter]
```

2. 切替コマンド+操作 [Enter]

例えば、次のポートに切り替えるには、下記を入力します。

```
sw + [Enter]
```

3. 切替コマンド+操作 [Enter]

例えば、ディスプレイの電源を OFF にするには、下記を入力します。

```
sw off [Enter]
```

入力可能な値

切替コマンドで使用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
sw	切替コマンド。

入力コマンド	説明
i	入力コマンド。

ポート番号	説明
xx	ポート 01~04 (デフォルトは 01)

操作	説明
on	ディスプレイの電源を ON にします。
off	ディスプレイの電源を OFF にします。
+	次のポートに切り替えます。
-	前のポートに切り替えます。

エンター	説明
[Enter]	コマンドを送信します。

ポート切替コマンド一覧表

コマンド	入力	ポート	操作	Enter	説明
sw	i	xx		[Enter]	入力ポート番号 xx に切り替えます。
sw			on	[Enter]	ディスプレイの電源を ON にします。
sw			off	[Enter]	ディスプレイの電源を OFF にします。
sw			+	[Enter]	次の入力ポートに切り替えます。
sw			-	[Enter]	前の入力ポートに切り替えます。

コマンドが送信されると、確認メッセージが返ってきます。

確認メッセージ	説明
Command OK	コマンドは正確で、機能が実行されます。
Command Incorrect	無効なコマンドまたはパラメーターです。

- 注意:**
1. 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。
 2. **ポート番号**コマンド文字列は省略することができます。この場合、デフォルトの値が使用されます。

Power on Detection(電源状態検知)



「Power on Detection」(電源状態検知)画面は、電源状態検知機能を有効または無効にする際に使用されます。この電源状態検知機能は、現在ポートに接続されたデバイスの電源が OFF になった場合に、電源の入ったデバイスが接続されている次のポートに自動的に切り替える機能です。

「Power on Detection」(電源状態検知)画面では、下記の操作ができます。

- ◆ 電源状態検知機能を有効にするには、「On」を選択してください。
- ◆ 電源状態検知機能を無効にするには、「Off」を選択してください。
- ◆ 手動でコマンドを入力するには、テキストボックスを使用してください。
- ◆ コマンドを送信するには、「SEND」(送信)をクリックしてください。

電源状態検知機能コマンド

下記のようにテキストボックスにコマンドを入力してから「SEND」(送信)をクリックすることで、コマンドが実行されます。

電源状態検知機能コマンドの構文は下記の通りです。

1. 電源状態検知機能コマンド+操作コマンド [Enter]

例えば、電源状態検知機能を有効にするには、下記を入力します。

pod on [Enter]

入力可能な値

電源状態検知機能コマンドで使用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
pod	電源状態検知機能コマンド。

操作	説明
on	電源状態検知機能を有効にします。
off	電源状態検知機能を無効にします。

エンター	説明
[Enter]	コマンドを送信します。

電源検知機能コマンドの一覧表

コマンド	操作	Enter	説明
pod	on	[Enter]	電源状態検知機能を有効にします。
pod	off	[Enter]	電源状態検知機能を無効にします(デフォルト)。

Read Info (ファームウェアの読込)



「Read Info」(ファームウェアの読込)画面は、VS0201/VS0401 のファームウェア情報を読み込むときに使用されます。この画面からは下記の操作ができます。

- ◆ VS0201/VS0401 のファームウェアバージョンを読み込むには、「Version」(バージョン)を選択してください。
- ◆ 手動でコマンドを入力するには、テキストボックスを使用してください。
- ◆ コマンドを送信するには、「SEND」(送信)をクリックしてください。

ファームウェアの読込コマンド

下記のようにテキストボックスにコマンドを入力してから「SEND」(送信)をクリックすることで、コマンドが実行されます。

ファームウェア読込機能のコマンド構文は下記の通りです。

ファームウェア読込機能コマンド + [Enter]

例えば、本製品のファームウェア情報を表示するには、下記を入力します。

`read version [Enter]`

Button Control(プッシュボタンのロック)



「Button Control」(プッシュボタンロック機能)画面では、フロントパネルにあるプッシュボタンの使用をロックすることによって、デバイスのセキュリティを確保します。

「Button Control」(プッシュボタンロック機能)画面からは下記の操作ができます。

- ◆ フロントパネルのプッシュボタン操作を有効にするには、「ON」を選択してください。
- ◆ フロントパネルのプッシュボタン操作を無効にするには、「OFF」を選択してください。
- ◆ 手動でコマンドを入力するには、テキストボックスを使用してください。
- ◆ コマンドを送信するには、「SEND」(送信)をクリックしてください。

プッシュボタンロック機能のコマンド構文

下記のようにテキストボックスにコマンドを入力してから「SEND」(送信)をクリックすることで、コマンドが実行されます。

プッシュボタンロック機能コマンドの構文は下記の通りです。

1. プッシュボタンロック機能コマンド+操作 [Enter]

例えば、フロントパネルのプッシュボタンの使用を無効にするには、下記を入力します。

`button off [Enter]`

入力可能な値

プッシュボタンロック機能コマンドで使用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
button	フロントパネルのプッシュボタンロック機能のコマンド。

操作	説明
on	フロントパネルのプッシュボタン操作を有効にします(デフォルト)。
off	フロントパネルのプッシュボタン操作を無効にします(ポートLEDが1秒間隔で点滅して、プッシュボタン操作が無効になっていることを表します)。

エンター	説明
[Enter]	コマンドを送信します。

プッシュボタンロック機能コマンドの一覧表

コマンド	操作	Enter	説明
button	on	[Enter]	フロントパネルのプッシュボタン操作を有効にします(デフォルト)。
button	off	[Enter]	フロントパネルのプッシュボタン操作を無効にします。

DDC



「DDC」の画面は、ダイナミック DDC 機能を有効/無効にする際に使用されます。ダイナミック DDC は、接続されたディスプレイをモニタリングするのに使用され、最新の正しい EDID 情報をソースデバイスに提供することによって、表示を最適化することができます。ダイナミック DDC 機能を無効にすると、ソースデバイスはディスプレイ問題を引き起こす可能性がある最新の EDID データを受信しません。表示品質に問題がある場合、ダイナミック DDC 機能を無効にすることを推奨します。

「DDC」の画面からは、下記の操作ができます。

- ◆ ダイナミック DDC 機能を有効にするには、「ON」を選択してください。
- ◆ ダイナミック DDC 機能を無効にするには、「OFF」を選択してください。
- ◆ 手動でコマンドを入力するには、テキストボックスを使用してください。
- ◆ コマンドを送信するには、「SEND」(送信)をクリックしてください。

DDC 機能のコマンド

下記のようにテキストボックスにコマンドを入力してから「SEND」(送信)をクリックすることで、コマンドが実行されます。

1. DDC 機能コマンド+操作 [Enter]

例えば、ダイナミック DDC 機能を無効にするには、下記を入力します。

```
ddc off [Enter]
```

入力可能な値

DDC 機能コマンドで使用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
ddc	ダイナミック DDC 機能コマンド。

操作	説明
on	ダイナミック DDC 機能を有効にします。
off	ダイナミック DDC 機能を無効にします(デフォルト)。

エンター	説明
[Enter]	コマンドを送信します。

DDC 機能コマンドの一覧表

コマンド	操作	Enter	説明
ddc	on	[Enter]	ダイナミック DDC 機能を有効にします。
ddc	off	[Enter]	ダイナミック DDC 機能を無効にします(デフォルト)。

Auto Switch(自動切替コマンド)



「Auto Switch」(自動切替)画面は、ポートの自動切替を有効/無効にする際に使用されます。自動切替機能は、ソースデバイスが VS0201/VSO401 の特定のポートに接続された際、優先的にそのポートに自動で切り替えて出力する機能です。この場合、このポートからソースデバイスを外すか、自動切替コマンドを無効にしない限り、ポートを変更することはできません。

「Auto Switch」(自動切替)画面では、下記の操作ができます。

- ◆ ポートを自動で切り替えるにはそのポートの番号 **1**、**2**、**3**、または **4** を選択してください。
- ◆ 全ポートに対して自動切替を無効にするには、「**OFF**」を選択してください。
- ◆ コマンドを手動で入力するには、テキストボックスを使用してください。
- ◆ コマンドを送信するには、「**SEND**」をクリックしてください。

自動切替コマンド

下記のようにテキストボックスにコマンドを入力してから「SEND」(送信)をクリックすることで、コマンドが実行されます。

1. 切替コマンド+入力コマンド+ポート番号+操作 [Enter]

例えば、ポート番号 02 に対して自動切替コマンドを有効にするには、下記を入力します。

```
sw i02 auto [Enter]
```

2. 切替コマンド+操作 [Enter]

例えば、自動切替を無効にするには、下記を入力します。

```
sw auto off [Enter]
```

入力可能な値

自動切替機能コマンドで使用できる値は下表の通りです

コマンド	説明
sw	切替コマンド。

入力コマンド	説明
i	入力コマンド。

ポート番号	説明
xx	ポート 01~04 (デフォルトは 01)

操作	説明
auto	自動切替を有効にします。
auto off	自動切替を無効にします。

エンター	説明
[Enter]	コマンドを送信します。

自動切替機能コマンドの一覧表

コマンド	入力	ポート	操作	Enter	説明
sw	i	xx	auto	[Enter]	ポート番号 xx で自動切替を有効にします。
sw			auto off	[Enter]	自動切替を無効にします。

RS-232 Setting (RS-232 の設定)



「RS-232 Setting」(RS-232 の設定)画面にて、シリアルポートを下記のように設定してください。

ボーレート	19200
データビット	8 ビット
パリティ	None
ストップビット	1 ビット
フロー制御	None

「RS-232 Setting」(RS-232 の設定)画面から COM シリアルポートとボーレートの設定を行うことができます。設定値のオプションは下記の通りです。

- ◆ ドロップダウンメニューから「COM」ポートまたは「Baud Rate」(ボーレート)を選択してください。
- ◆ 「CONNECT」(接続)をクリックしてください。

ポート接続に成功したら、下記のような確認メッセージが返送されます。

Open port 'COM 1' successfully